

第 4 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 女性参画・家族会員推進委員会

委員長名 L 片岡 洋乃

報告事項

今期の初め河合ガバナーより、「このプログラムは三期に渡る計画であり、1 年目としては、目の前の数字にとらわれず 2 年・3 年たった後、花を咲かせるつもりで、“会員への意識の啓蒙” や“ベースとなる資料”の作成、又、“女性”や“若い人達”を集める為に他のエリアが進めている“支部”について等、前向きに調べてみて欲しい」との意見を戴いた。

第 1 回目の委員会では、これらの事及びガバナーからの諮問事項とそれに対する委員長計画を委員の皆様にご説明させて頂き、その方向性で委員会全員の協力を頂きながら、現在に至る。

< 年 間 活 動 報 告 >

A) この“プログラムの現況の熟知”と“クラブ訪問の資料制作”の為、各クラブ会長へのアンケートを実施する。

資料 No.1 (第 4 回キャビネット会議以降ホームページ参照)

①アンケートの内容と形状の検討 ②用紙の全体的なレイアウトの決定 ③ガバナー承認

④印刷 ⑤発送 ⑥回収 ⑦集計と調査報告書の作成（報告書は第 2 回キャビネット会議の折キャビネット事務局にデーターにて送り済）

B) クラブ訪問の為、手配りチラシをメンバーの手作りにて制作。

資料 No.2 (第 4 回キャビネット会議以降ホームページ参照)

①アンケートの発送と並行し、チラシのコピー等、内容検討を始める。②プラン出し

③ガバナー承認 ④印刷 ⑤チラシを各クラブメンバー配布用にセッティング(2,500 部)

C) 家族会員制度のローカルルールガイドライン制定の為、会則・会員委員会とのタイアップ

会則・会員委員会の選挙関連の規則制定が終結後、家族会員のローカルルールガイドラインを作成して頂き、2011 年 1 月 11 日の 330-A 地区臨時第 1 回キャビネット会議に於いて、承認を得た後、印刷し、クラブ訪問に使用する。

D) クラブ訪問啓蒙活動を開始（2 月～4 月）・・・4 月末日迄に 100 クラブ訪問終了。

チラシ印刷の内容 ①家族会員制度ローカルルールガイドラインチラシ 資料 No.2-1

②家族会員募集チラシ 資料 No.2-2 ③女性会員募集チラシ 資料 No.2-3

④委員長からのお願い 資料 No.2-4（4 種を 2,500 枚ずつ 10,000 枚）

E) 全クラブのアンケート調査とクラブ訪問によって得られた情報から、“クラブ別の

家族会員及び女性会員調査報告”を制作 資料 No.3 (第 4 回キャビネット会議以降ホームページ参照)

①クラブ会員数(男女別) ②家族会員数 ③家族会員に対するそのクラブの考え方

④家族会員の年会費⑤女性会員に対するそのクラブの考え方

F) 例会訪問の折に受けた質問について、回答書類を制作

資料 No.4

但し、女性会員名簿は 2011 年版会員名簿より作成されたものであるが、“個人情報の見地”からホームページに掲載する事は現在検討中である

東京 LC その他から受けた「330-A 地区の女性メンバーはどのような職種の方々
が在籍しているのか、出来ればそれらを理解してから募集活動を行いたい」との
質問に対して答える為、資料を作成する。(2011 年 6 月 1 日終了)

制作リスト ① 2011 年版 330-A 地区女性名簿 資料 No.4-1(ホームページ掲載については現在検討中)
② 2011 年版 330-A 地区女性会員の職種別リスト 資料 No.4-2(別紙添付)
③ 2011 年版 330-A 地区女性会員の役職別リスト 資料 No.4-3(別紙添付)

※上記の答申の資料はメンバーの質問になるべくお答えしようとしたものではある。会員名簿から調べる以外にデータが無く、性別については名前のみで判断している。又、職種も会社名で判断できないものは、出来る限りインターネットにて調べているが、判断できないものについては記載していない。

※①引用対象名簿 / 前回発行 330-A 地区会員名簿(2007 年～2008 年)・・・ベースデータ作成の為使用

②330-A 地区会員名簿 (2010 年～2011 年) 2011 年 6 月発刊のもの・・・新データとベースデータをすりあわせて作成するため使用。

資料をご覧になりたい方は、ライオンズクラブ 330-A 地区ホームページをご覧下さい。

< アンケート及び例会訪問による結果報告 >

A) 女性会員について

200 クラブの内 (東京蒼天は新設クラブの為、無回答)

○女性会員が既に在籍しているクラブ	102 クラブ
○不在であるが今後入会させるのに前向きなクラブ (募集する予定である、又は募集中であるが応募がない)	43 クラブ
○女性ライオンを全く受け入れないクラブ	54 クラブ

B) 家族会員について

家族会員が既に在籍しているクラブと在籍していないクラブを分けると、家族会員
不在クラブは 140 クラブである。これは全体の 70 %にあたる。

家族会員の全体のクラブ状況は

○今後前向きに募集しようとしているクラブ (検討中である、内規を制作中)	42 クラブ
○現在在籍者はいるが、今後は募集しない	25 クラブ
○推進する事自体に反対のクラブ	132 クラブ

又、この家族会員推進する事自体に反対している理由としては、

- ①男性と同様に会費を払い、活動を行っている女性メンバーを基本的に無視している。
- ②会員の増しと国際協会の資金集めにすぎない。
- ③出席しないで権利だけを持つ、形だけの制度はつくるべきではない。

等の考え方が主流である。

＜ 後 記 ＞

1年間を通し、この資料作成及び例会訪問での印象から、下記の様に考えます。

①女性や若者の入会については“会費を安く”して、しかも“正会員”として男女の差別なくプライドを持って活動ができる組織（例えば支部制度）等を考えて頂きたいと思います。（330-A地区以外の他のエリアではすすめているところもいくつか確認しています。）

②家族会員については、現在、殆どが奥様方ではありますが、本来的には、本人の長男を始めとするご子息や兄弟・いとこ等、男性を主として次代へ継続的につなげる様に進めて頂く事がより家族会員の深い絆になり得ると考えます。

日本の女性会員については、世界レベルの中で大変立ち遅れている現在、やっと今、ここまでたどりついた現状をふまえて、これから入る女性達の為にも、女性の社会的地位を下げる事なく、ライオンズクラブが男女それぞれの違いをお互いに“補い合い共存できるコミュニティースペース”である事を念頭に、今後共、ご指導下さる様にお願いしたいと思います。

※ 各種資料提出にあたり、ガイドラインを作って下さった会則・会員委員会の委員長はじめ委員会の皆様、そして、女性参画・家族推進委員会の副委員長、委員の皆様方にこの場を借りて心から感謝を申し上げます。